

第1回みんなでまちづくり推進会議 会議録

■日 時：平成25年3月25日（月）19：00～20：50

■場 所：境港市役所第1会議室

■日 程

1 開会

2 会長あいさつ

3 報告事項

(1) 市民活動についてのアンケート結果

　資料1『市民活動についてのアンケート』

(2) 参加と協働の実施状況（平成24年度実績見込み）について

　資料2『平成24年度から取り組んだ主な協働事業』

　資料3『参加と協働等の実施状況（24年度見込）』

(3) 境港市市民活動推進補助金交付要綱の一部改正について

　資料4『境港市市民活動推進補助金交付要綱の主な改正点』

4 ワールドカフェ方式による討議

～テーマ～ ※市民活動についてのアンケート結果からの課題

○人材確保について

○PR方法について

○市役所の関わり方・アンケート全般について

5 総括

6 閉会

■出席者（敬称略）

石橋文夫、遠藤恵子、梶川恵美子、門脇紀文、徳尾勝、

松本幸永、水田浩司、渡部敏樹、土井哲雄、門脇京子

（欠席委員：植田建造、浜田照美）

1 開会

(地域振興課長)

今日は、島根大学の毎熊先生をお迎えして趣向を凝らしていろいろやりたいと考えています。よろしくお願ひします。

皆様には、雨の中をご出席いただき大変ありがとうございます。4月以降も、柏木、北野、森が担当させていただきますのでよろしくお願ひします。

本日の会議ですが、この後、事務局から今年度実施した「市民活動についてのアンケート結果」、「参加と協働の実施状況」について報告させていただきます。

それから、皆さんにご審議いただいています「市民活動推進補助金」について、一部改正を考えておりまして説明をさせていいだきます。

その後に、アンケートで見えてきた課題について、ワールドカフェ形式といった今までにない話し合いの形で、委員の皆様からご意見等をいただけたらと思っておりますのでよろしくお願ひします。

最初に会長からごあいさつをいただきたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

2 会長あいさつ

(会長)

皆様、こんばんは。ご多忙の中、また寒い中、お出かけいただき、ありがとうございます。

それでは、早速ですが始めたいと思います。それでは事務局から説明してください。

3 報告事項

(事務局)

それでは、3点報告させていただきます。

まず1点目、「市民活動についてのアンケート結果」について、報告させていただきます。

このアンケートは、市民活動センター登録団体連絡協議会に登録している37の市民活動団体に調査を依頼しました。調査期間は、1月下旬から2月15日までの約3週間としております。

市内の市民活動団体の現状や課題などについて把握し、今後の市の施策の参考とすることを目的に実施したところであります。

アンケートの結果から、特徴的なところを申し上げます。

4ページをご覧ください。活動団体の会員の構成を見てみると、50~70歳代がほとんどであります。

13ページをご覧ください。活動を発展させるにはとの間について、会員を多く募集することが必要と思っている団体が18あります。

15ページをご覧ください。活動するにあたって足りないものについての問です。活動を行うにあたって活動する会員数が足りないとと思っている団体が15あるなど、活動する会員の不足や会員の募集など、人材確保についての課題がありました。

17ページをご覧ください。活動を充実させるため行政はどの程度支援すべきかとの問です。④活動に関する情報提供を望んでいる団体が13あり、⑤団体の活動のPRの場の提供を望んでいる団体が15あるなど、活動に関する情報提供や活動のPRの場の提供など、PR方法についての課題などがあるのではと考えております。

これらが課題であると考えており、のちほど、ワールドカフェでこの課題について、話し合いをしていただく予定としております。

次に2点目ですが、今年度の「参加と協働の実施状況について」ご報告させていただきます。

最初に資料2をご覧ください。今年度から取組んだ主な6つの協働事業を掲載しています。

その中から2点紹介させていただきます。

まず、「9 外江町、渡町ケヤキ並木清掃活動」ですが、これは、平成22年度から外江町で取り組んでいましたが、今年度から新たに渡町も加わり、ケヤキの落ち葉の清掃を行ったものです。11月から12月の日曜日計5回、外江町から755人、渡町から349人、延べ1,104人が参加いたしました。市としては、清掃道具の準備や当日の落ち葉の回収などを行いました。

次に、「83. マグロ集会」ですが、境港産のクロマグロの魅力発信として、マグロのお話と試食を行うマグロ集会を市内の保育所・幼稚園で6月5日～15日にかけて開催したものです。また、11月には、同じ様に紅ズワイガニをテーマに「かに集会」も開催しております。

続きまして、資料3をご覧ください。見込みですが、24年度、境港市は94の協働事業に取組んでいます。最初のページに実施した課別の件数及び参加の形態についてまとめています。

まず実施した課についてですが、13の課が様々な事業を行っています。生涯学習課が最も多く、40件の協働事業に取組んでいます。次に福祉課が13件と続いています。

協働の形態についてですが、事業委託、共催・後援、補助・助成、事業協力、情報交換、情報提供、その他、と様々な形態がありまして、その中では後援・共催が最も多く32件、次いで事業協力が26件となっています。

それでは、最後に「境港市市民活動推進補助金交付要綱の主な改正点」について、説明させていただきます。

資料4をご覧ください。本市では、市民が行う自主的で自発的な市民活動の活性化を

図る目的で補助金を交付しております。委員の皆様には、審査員を務めていただいており、大変お世話になっており、あらためてお礼申し上げます。

補助金の交付要綱について、4点改正したいと考えております。1点目は、他の補助金と併用を認めるというものです。今は不可としておりますが県の補助金は併用を認めており境港市の補助金にも取り入れたらと思っています。2点目は、1,000円未満の事務用品などの見積りの添付を省略するということで、これも県の補助金は強制していません。3点目は、補助金の対象団体についてです。今は市民活動団体のみですが、民間の会社でも活動として社会貢献活動をしているところもあります。会社の利益のあるものと切り離している活動については認めてよいのではと思っています。4点目は、新規にこの補助金を使用する団体は、補助率10/10の10万円までの新規設立事業と、補助率2/3の30万円までの一般事業（新規）と選択できるよう明記いたします。

この要綱は、来年度の補助金から適用となります。4月5日から19日までの間で募集を予定しておりますので、委員の皆様には、4月下旬頃に審査会を予定しておりますので、その際に審査をよろしくお願ひいたします。

(会長)

ただいま3点の報告と提案がありました。今の説明に対して何か質問はありませんか。

(委員)

資料4にある「鳥取力創造運動支援補助金」について、西部からの申請が少ない。もっとPRして利用してもらった方がよい。

(委員)

申請するけど、なかなか難しい。

(委員)

西部から申請が少ないのはPR不足ではないか。公民館に案内は来るけど、行政ももう少し踏み込んでPRが必要ではないか。

4 ワールドカフェ方式による討議

(会長)

それでは、ワールドカフェ方式による討議に入ります。毎熊先生から説明をよろしくお願いします。

(毎熊アドバイザー)

こんばんは。ちょうど1年ぶりになります。今日は、昼間は議会の方におじやまして、議会基本条例のアドバイスをしていた。なぜ議会の話をしたかというと、議会は我々の代表であるので、市民活動にがんばっている皆さんに关心を持っていただき、議会基本条例に対して物申していただきたい。皆さんに関わっていただきたい。そういうことで市民活動にもつながっていくのではないかと思う。

先程、補助金の話が出たが、皆さん申請書を書くときに、他の団体や得意な人に申請書を見てもらったことがありますか。審査に携わることが多いが、ワープロで書かれたものと、手書きで書かれたものとでは、ワープロで書かれた物の方が印象が良い。また、最低限添付してほしいものとして、総会資料、活動に関連する新聞記事は付けてほしい。最低限必要な物とか、マニュアルがあると思うので共有するといいと思う。役所は上手なので、書き方を伝授してもらうといいと思う。

島根県は、補助金が沢山あるので、合同説明会をされている。違いが分かっていい。例えば市から県に働き掛けてみるのもいいのではないか。感想です。

それでは本題のワールドカフェの説明をしたいと思います。

ワールドカフェはいろいろなところで行うが評判が良いです。

簡単に説明すると、「言い放し」、「聞き放し」で、まとめることをしない。

難しい言葉で言うと、自省型のワークショップという。自分でしゃべりながら、気づきを得るというのが1番の目的です。まとめることは必要ない。好きなことをしゃべってもらえばよい。力を抜いてやっていただければと思います。

カフェというのは、世間話をするように、しゃべっていただく。お茶を飲みながら、お菓子を食べながら、リラックスしてしゃべっていただくのが特徴です。

今日は3つのテーマで、テーマごとにテーブルを分けて、15分ごとにテーブルを替わっていただきます。皆さんが3つのテーマについてしゃべっていただきます。次に移動するテーブルはバラバラで自由ですのでメンバーも変わります。違った方と話ができるというのも特徴です。

事務局には、進行役・ホストをやってもらう。事務局1人だけテーブルに残って、これまでに出た意見を、次に集まつてくる人に伝えてもらいます。

ホストは、模造紙に、皆さんの発言のキーワードをメモしてほしい。

気軽にぎやかにやってほしいです。

それで最後に皆さんから一言づつ感想をいただきたいと思います。

終わったら、皆さんにアンケートを書いていただきたいと考えています。そのまま閉じて郵送させてもらうので、どんな意見が出たのか分かります。

事務局は、皆さんからの意見を取り入れたいと言っていたので、全部は無理でしようけど、できること、できないことがあると思うが、ぜひ何かしら取り入れていただければと思います。

(事務局)

今日は市の市民活動に関する部署から福祉課長、生涯学習課長、広報担当の3名が参加しますのでよろしくお願いします。

< ワールドカフェ方式による討議を開始 >

下記の3つのテーマについて、各テーブルに分かれて意見を出し合った。

※3つのテーマについて出された意見は別添のとおり。(付箋が張ってある項目は、皆さんが良いと「思った項目」)

- ① 人材確保について
- ② P R方法について
- ③ 市役所の関わり方・アンケート全般について

< ワールドカフェ方式終了後 各委員からの感想 >

(委員)

意見を出しやすい方式だったと思います。

(委員)

楽しく、意見を出せて、有意義であった。

(委員)

大勢で話をするより、アイデアを不思議なくらい出しやすかった。合理的な感じがした。

(委員)

人数が少なく、型苦しくなく、気軽に意見を言いやすかった。

(委員)

意見が出しやすく、いろんなアイデア・意見が集まると、こんな考え方もあるのだと感じた。

(委員)

こじんまりとしたグループで率直な意見が出しやすかった。

(委員)

P Rについては、自分たちで努力しないといけない。

(委員)

自分の会のことを見直す良い機会になった。

(委員)

たまには、こういうやり方もいいなと思いました。

5 総括

(毎熊アドバイザー)

皆さんの意見で面白いと思ったのが、人材確保のところで「一本釣り」に皆さん共感されている。

人材確保について、活動の核になる人材については「一本釣り」が必要なんだろうと思います。また、人材確保にはできるだけ広く募るという両面のアプローチが必要だと思う。

活動に参加される方の意見を聞くと、楽しかったとか、人との繋がりができた、人のためになったという意見が多いので、活動が続くのはそういう理由だろうと思います。

アンケートについて言うと、松江で実施したアンケートは回答するのに1時間位かかるものであった。なぜそのようなアンケートにしたかというと、質問の関係性を見るためにやった。市民団体にアンケートを対象にしているが、場合によっては、市民に広くアンケートするやり方もあるので、必要に応じて内容、対象などやり方を考えないといけないです。

アンケートを回答するだけで勉強になったという意見があったので、アンケートを効果的に活用してほしいと思います。

6 閉会

(会長)

今後もたまにはこのような取組みをやっていきたいと思う。

その他に何かありませんか。

(委員)

いろんな団体の方が集まっているので、最後に各団体のPRしたいことなどあれば、PRする時間を作ってはどうか。

<ウィンドアンサンブルのミニコンサートのPRと、伯州綿で作った風呂敷のPRがあった>